

こまつ人口レポートのポイント

本資料の位置づけ

P1

- ・まち・ひと・しごと基本法の規定に関連した「地方人口ビジョン」に当たり、小松市の現状と将来の姿を人口の側面から分析し『小松市ビジョン総合戦略』その他各種の政策立案等のために活用される基礎資料として作成
- ・直近の統計調査や社人研の将来推計等を踏まえた市人口に関する動向、人口目標を掲げている 2040 年やその後も同条件で推移した場合の 2060 年までの市独自推計、ならびに今後の課題や展望等を掲載

内容

I 人口の現状 人口の動きの特徴や課題等について

P2

- ・総人口は、半世紀にわたり「10 万数千人台」で推移してきたが、年齢構成は大きく変化している（2023 年末:15 歳未満 12.4%、15～64 歳 58.8%、65 歳以上 28.8%）
- ・人口増減では、かつてはほぼ一貫して大きな「転出超過」の傾向であったが、直近 10 年以内では、外国人住民の移動等により「転入超過」の年も現れている

P3

- ・年齢層別の人口移動の特徴として、進学（高校卒業）時の世代では大きな「転出超過」、就職（大学卒業）時の世代では大きな「転入超過」傾向にある
- ・若年女性は、公立大学の設置や就労環境の整備等により、2010 年や 2015 年の調査に比べ転出入の均衡に向けて改善している（女性全体では転入超過に転換）

P4

- ・2015 年と 2020 年との調査の比較では、「卸売業・小売業」や「教育関連産業」で女性就労者が増加し、女性の人口移動にも影響を及ぼしたものと推察
- ・一方で、「製造業」や「宿泊業・飲食サービス業」では、女性就業者は減少した

P5

- ・国籍別の人口移動の特徴として、「日本人住民」は、特に自然動態の影響により減少幅が拡大傾向にあるが、「外国人住民」は、社会動態の影響で増加している
- ・直近の外国人住民は 3 千人を超え、総人口に占める割合は、男性(3.6%)は全国値より高く女性(2.1%)はやや低い特徴がある（全体(2.8%)は全国値とほぼ同数）

P6

- ・直近 10 年間の地域別の人口増減は、市内 25 地域のうち「5 地域で増加」した
- ・大半の地域で少子高齢化が進む中、市山間部と郊外の地域では子どもの減少幅が大きく、さらに山間部では高齢層も減少しており、人口減が大きく進行している

II 人口のこれから 推計人口による将来の見通しについて

P7

- ・将来推計人口は、地方創生の開始当時からは上振れで推移しており、社人研による直近の調べでは、「2040年の人口は9.35万人」と推計
- ・年齢層別では、15歳未満や15～64歳の層では一貫して減少が続くが、65歳以上の層では2040年代まで増加すると推計
- ・働く世代の人口減と構成割合の低下が続くことで、労働力だけでなく、世代間での各種負担の公平性等にも多大な影響が生じる

P8

- ・人口ピラミッドは、世代間の差が少ない「釣り鐘型」から、現在は少子高齢化が進行した「つぼ型」、そして今後は、年齢が高いほど人口が多い『逆さ富士』型とも言える人口構造への大きな変化が予想される
- ・また、価値観の多様化や社会環境・経済状態等の変化の中で、「非婚化」や「晩婚化」の傾向も高まっており、今後は単身世帯の更なる増加や高齢化の進行が予想される

P9

- ・20～30歳代の女性の人口推移に着目した民間グループ（「人口戦略会議」）の調査によると、若年女性の減少予測は10年前の調査からは改善しているが、今後30年間で3割減になるとされている

P10

- ・同グループが定義する「自立持続可能性自治体」（若年女性の減少率が比較的低い自治体）となるには、自然減対策とともに社会減対策への注力が重要
- ・ただし、直近の合計特殊出生率も大きく下降し、出生数の減少が再び加速していることから、出生数への取組みも改めて重要となっている

III 人口の将来展望 人口目標の達成への条件や推計について

P11

- ・小松市が掲げる2040年の人口目標（総人口10万人等）の達成には、「出生率や社会動態の改善」、「健康寿命の伸長」などの人口増につながる取組みを通じて、社人研による将来推計人口から「さらに約7千人の上積み」が必要
- ・総人口の目標だけでなく、子どもや働く世代の減少を抑制させることで、人口構造の急変を緩和させ、「人口減少時代の様々な課題の克服」と「人口の安定化」と図る

IV ビジョン実現にむけて 2040年への取組みの方向性について

P12

- ・人口問題への対応は、国を挙げた先送りしない大胆な取組みが急務
- ・上振れ基調を作り出してきた小松市の実績や高いポテンシャルを引き続き活かして、こまつ創生に取り組んでいくことが今後も重要

以上